

はじめに

本報告書は、平成 14 年度に社団法人海外環境協力センターが、環境省から委託を受けた「環日本海環境協力推進事業」により、平成 14 年 12 月 5 日(木)から 6 日(金)に中国海南省・博鰲において開催された「第 11 回環日本海環境協力会議」(The 11th Northeast Asian Conference on Environmental Cooperation)に参加し、その結果をまとめたものである。

本会議は中華環境保護基金会(China Environmental Protection Foundation) 海南省国土・環境・資源庁(Land, Environment and Resource Department of Hainan Provincial Government)の支援を得て、中国国家環境保護総局(SEPA)によって主催された。中国、日本、韓国、モンゴル、ロシア連邦の 5 カ国の中央政府、地方政府、研究機関、NGO の関係者が出席した。国連環境計画/アジア太平洋事務局(UNEP/ROAP)の代表者も会議に参加した。

会議は初日のシンポジウム「環境教育と国民意識啓発」で幕を開け、各国の専門家及び NGO 等から各国における活動が紹介された。引き続き本会議では、水環境の改善、都市部における大気環境の改善、WSSD(持続可能な開発に関する世界サミット)と北東アジア環境協力についての討議が行われた。中央政府だけでなく、地方公共団体や NGO などの主要グループをも含める、NEAC のオープンな参加プロセスは、WSSD のフォローアップとして特に重要であると認識された。

国際的な連携が重要になる中、今後の環日本海環境協力会議の果たすべき役割は、ますます重要となってきている。

平成 15 年 3 月

社団法人海外環境協力センター
理事長 森 仁 美